

電気料金を 8社値下げ

11月

関西電力と九州電力を除く電力大手8社は28日、11

月の電気料金を値下げすると発表しました。標準家庭

の下げ幅は前月比60〜150円程度で、液化天然ガス

(LNG)など燃料費の下落を反映しました。

・電力使用量が月々60割

時の標準家庭の場合、東京電力は前月比62円減の751円となり、横ばい。関西電力は、燃料費の上昇分を事前に定めた上限まで利用者へ価格転嫁できる「燃料費調整制度」の上限に達しており、横ばい。

九州電力は、燃料費の上昇分を事前に定めた上限まで利用者へ価格転嫁できる「燃料費調整制度」の上限に達しており、横ばい。

政府は負担軽減策として、電気料金は1割時当たり3・5円、都市ガスは1立方メートルあたり15円を補助しています。

11月の電気・ガス標準家庭料金

【電力】	月額料金	前月比
北海道	8,297	▲76
東北	7,550	▲91
関東	7,511	▲62
中部	7,122	▲59
関西	6,676	▲87
中国	6,146	—
四国	7,306	▲128
九州	7,337	▲88
沖縄	6,126	—
【ガス】	8,053	▲151
京阪	5,329	▲14
東大	5,879	▲13
東東	6,487	▲11
西	6,173	▲8

(注) 単位円。—は据え置き、▲はマイナス。月間使用量は、北海道と北陸は230、九州は250、その他は260(いずれも1時)。東京ガスと大阪ガスは30、東邦ガスは31、西部ガスは23(いずれも立方メートル)。